

朝日丘

学校だより2月号

氷見市朝日丘3番1号 TEL:74-8422 FAX:74-8423

感謝の気持ち… おかげさま

最近、何人かの方に「おかげさまで…」というご挨拶をいただきました。特別なことをしたわけではないのですが、とてもうれしく感じました。

もちろん、子供たちがいきなり「おかげさまで…」といった言葉を使い始めるとびっくりしますが、久しぶりに聞いた言葉について、考えてみたいと思います。

私たちは、多くの人たちの支えと、自然の恵みによって生かされています。豊かな現代社会に暮らしていると、当たり前のあるありがたさをついつい忘れがちですが、この世は正に持ちつ持たれつの「おかげさま」の世界です。そういったことが分かるようになってくると「ありがとうございます」の他にも、「おかげさまで…」という気持ちが感じられるようになってくるのではないのでしょうか。

本来、「お陰」「御蔭」とは、神仏の助けや加護のことを指していますが、そこから派生して、人から受ける恩恵や力添えをいうようになりました。また、「お陰」の文字から分かるように、自分の知らない、気付かないところ（陰の見えないところ）でも支えられているという気持ちも込められています。

何かと無神経で、気付きの浅い私は、きっと多くの方々に支えられています。また、学校教育は、多くの先生や職員、地域の皆さん、保護者の皆さんに支えられて前に進んでいます。最近のことを言えば、1月29日、日曜日に実施した学習参観日に朝日丘小学校の駐車場や近辺道路は、日曜日にもかかわらず、すっきりと除雪されていました。他にも挙げるときりがありません。その方々への感謝の気持ちは、やはり「おかげさまで…」という感謝の言葉で表したいと思います。

理屈っぽい方は、「何のおかげですか」「誰のおかげですか」と言うかも知れませんが、何のおかげでも良いのです。私たちが実は、生まれたときからずっと、一人では生きられないこと、たくさんの〈おかげ〉を受けて生きていることを忘れないという心の表れだと思うのです。

これまでのことも、これからのことも「おかげさま」の気持ちを忘れず、朝日丘の学校教育を前に前に進めていきたいと思います。